

発行:ちょうふ環境市民懇談会 /連絡先:東京都調布市環境部環境政策課 TEL:042-481-7086 /発行数:1500部

ちょうふエコマップ&カレンダー2008ができました!

3月1日グリーンホール小ホールで行われた環境活動グループの交流会で、それぞれの活動拠点を書き込んだ結果こんなエコ活動マップができました!



調布の自然

とり ツグミの仲間

まだ見られる冬鳥たち

桜が咲く頃には、調布で冬を過ごした鳥たちの多くは、それぞれの繁殖地へと渡ってしまいましたが、大型ツグミの仲間はこれからのようです。この時期は野原やグラウンド、開けた多摩川等の河原に集合するツグミが目につきます。この時期しっかり観察すると次の冬の楽しさが倍増ですよ。

雀よりかなり大きくハトより小さい、という大きさは共通
 ○ツグミ ピョンピョンと飛び跳ねるようにしては胸をそらして立ち止まり、落ち葉を跳ね飛ばして土中の虫を捕らえる。全体に地味なレンガ色、もようは個体差が大きい。

○アカハラ 頭部は黒っぽく上背中から尾にかけてオ



ツグミ



アカハラ



シロハラ



ヒヨドリ



ムクドリ

リーブ褐色。胸腹は橙色。地鳴きはチリチリーだが夏の高原では朝一でキョロンキョロンツイーと美しい声で鳴く。

○シロハラ アカハラと似た感じだが腹はあまり赤くない。尾は黒褐色で尾羽は白い。

○ムクドリ 全体に黒褐色で顔は白い羽毛がある。ギャーギャーと集団でねぐらへ帰る。

○ヒヨドリ 全体灰色で頭部は青灰色のボサボサ。波型に飛び、ピーヨピーヨと騒がしい。最近物まね上手になった。

(里)

作成したエコカレンダーの1部です

団体名	3月							4月							
	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	祝	平
1. エコメッセ調布てらのサウルス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2. 生ごみ110番調布															
3. 武蔵境通り住民協議会															
4. わりばりサイクルグループ「くるりん」															
5. 調布ごみ市民会議															
6. アースデイin調布															
7. 東京電力(株)															
8. 東京ガス(株)															
9. 身近な川を見守る会	●														
10. 調布 水辺の楽校															
11. 調布自然環境学習ボランティア															
12. 野川で遊ぶまちづくりの会															
13. 環境モニター															
14. 調布市民健康づくり始める会															
15. 調布の地下水を守る会															
16. 22世紀の森づくり・神代															
17. 入間樹林の会															
18. カニ山の会															
19. 雑木林塾															
20. 若葉町第3緑地の会															
21. ちょうふ環境市民懇談会															
22. こどもエコクラブ															



活動内容の展示



↑飛び入り参加で野川について発表する小学生

←各グループが活動内容について紹介



◆3・1環境市民交流会を開催して。。。◆

今回の企画の特徴は自然環境分野のほかに地球環境やごみ問題にとり組むグループや企業が一堂に会したことでした。「こんなにイロイロな活動をしている人たちがいることに驚いた」「今後、他団体と連携した活動もしてみたい」という声もありました。今回作成したエコマップ&エコカレンダーは、コンパクトにまとめ、お互いの日ごろの活動や交流に役立ててもらおうことになりました。



◆2008年からの展開へ。。。◆

●環境市民のネットワークをつくろう！

2006年3月、調布市は市民参加で環境基本計画を策定しました。わたしたち「調布の環境市民」は、2001年からの活動経験と実績をもとに、環境に関わる市民・事業者のネットワークをつくり、そのなかで市民・事業者の役割、行政の役割、協働の具体的な取り組みなどがうまくみ合っていくようにしていきたいと思えます。具体的には、

- 調布の環境に関わる市民団体、企業、行政が情報交流、意見交換するための恒常的な場（拠点）の設置
- 環境に関わる市民活動の自立・継続への支援のルールづくり
- 環境基本計画の実現に向けた行動、提案など以上、「08・3・1環境市民の交流会」参加者一同から“呼びかけ”ます。

※第1回準備会は4/15 P.4に詳細を掲載。

◆カニ山の会

3/8 (土) 参加者 8 名

林内清掃作業と共に下段のエリア東入口に以前伐倒したシュロの木の幹を置く。これは入ってすぐの所に踏み跡道が発生したため、立入しにくいようにとの意図である。



それと以前からの懸案である樹木名ラベル取付けを行った。アクリル板にドリルでひもを通す穴をあけ、事前に用意した樹名シールを貼り、去年仮ラベリングしておいた樹木に、麻ひもで木の幹にくくりつけたり、枝に下げたりした。用意した材料の都合で、11 種 (ヤブツバキ、カクレミノ、トウネズミモチ、コナラ、ミズキ、コブシ、アオキ、マユミ、サワフタギ、モミジイチゴ) 11 基のみ装着。来月も引き続き作業の予定。



「ラベルを取り付けたことで管理をしている林だということを示せるので良かった。かねて申し合わせの『森の管理実施中』も付けた方がいい。」などの感想がきかれた。(活動記録より)

◆入間・樹林の会

3/16 (日)

整備工事が完成していないため、樹林地内の探索と伐採木の最終決定をし、保全活動はしませんでした。今年度中の伐採はマテバシイの広場のマテバシイ 5 本と下枝の剪定、杉 1 本、シュロ 1 本、民家と隣接する杉 2 本と枝剪定です。伐採した杉の活用については広場のイスにすることにしました。

林内は、芽吹きとツバキの花が待ち受けていました。ヒラギナンテンの黄色い花も目立ち、明るく華やかになってきました。コブシも花のつぼみもつけていて、春の訪れを感じます。ただ「もう少し花木があるとよい」との感想もでていました。

西側樹林地内では、隣家からの竹林が勢力をのぼしてきていました。竹の活用が楽しみな反面、様子を見て整備していく必要があります。



鳥はシジュウカラ、シロハラ、メジロ、ヒヨドリが鳴いていました。来月は、方形枠調査と保全活動の計画づくりの予定です。(安部)



写真上 ヒラギナンテン
下 ヤドリギ

◆環境モニター

3/8 (土) 参加者 8 名+小澤講師+スタッフ 2 名

まだ何も出ていないだろうとタカをくくって降りた河原でしたが、ワンド周辺は大変暖かく、花をつけている植物が結構あったのは予想外でした。花が目立ったのは、ノグシ・オオカワジシャ・ショカツサイ・タガラシ・イヌガラシ・ミチタネツケバナなどです。



イヌガラシ

昨年秋の台風でワンド周辺の川の形が変化し、ワンドは小さくなり、水の流れ込みが無くなってしまったようですが、それでも釣りをしている人がいるのは伏流水で多少水の入替えがあるからでしょう。北側は倒木や枯れ草で覆われ、今後マコモやヒメガマなどが出てくるのか心配な景色。それでもヤナギなどは倒れたまま小さな芽がついておりで復活が期待されます。



タガラシ

川にはジャリが積もり、昨年降りられなかった所に降りると、昨年まで無かったと思われるシュロガヤツリとコゴメイが育っていました。



オオカワジシャ

オオフサモも次々と顔を出していました。これは必ずしも水をかぶってなくても成長するそうで、帰化植物はとにかく強いようです。(NK)

ちょうふ あちこち

— 仙川駅前 (桜周辺) —

2000 年にロータリー整備工事の際「駅前の桜を切らないで」という市民運動が盛り上がり、立派な桜が 2 本残されました。そのときの「桜を守る会」は解散しましたが、今でも 3 人の有志の方が毎週土曜の朝、桜周辺の清掃ボランティアをしています。自然を守るのはこんな地道な努力があつてこそ。



メンバー随時募集 ☆ 環境市民活動カレンダー & おしらせ ☆

◆環境モニター

4/5 (土) 9:30~12:30
集合場所: コクティ-1 階ふれあいの家
★新年度メンバーを募集中です。今年も植物観察を中心とした市内の自然観察や記録を行います。原則毎月第1土曜日が活動日です。
4月の初回は調布の自然の概略について学びます。興味のある方はぜひ環境政策課にお問合せ下さい。

◆カニ山の会

4/12 (土) 10:00~12:00
集合場所: 深大寺自然広場(野草園横)
内容: フローラ調査と樹名板の取り付けなど
※原則毎月第2土曜にカニ山東樹林の保全活動を行っています。活動に参加してみたい方は直接集合場所へ。
※会費500円+保険料500円(年間)

◆入間・樹林の会

4/20 (日) 9:30~12:00
集合場所: 入間地域センター
内容: 方形枠調査と保全活動の計画作り
※毎月第3日曜に活動しています。興味のある方は時間までに直接集合場所へ

◆上記3グループとも、問合せは環境政策課: 042-481-7086へ

編集後記

調布ヶ丘のオオカンザクラが咲くと、「もう直ぐ春」の期待が高まります。そして野川の桜がほころびはじめると河畔を散歩をする人も多くなります。4月はあたらしい門出の季節。「ちょうふの自然だより」も、新鮮な気持ちでみなさんの活動場所へ出かけて取材をと思っています。お声を掛けて下さい。カメラ片手に参上します。
【編集担当: 鍛冶+江刺・小林・近藤】

環境政策課の窓

『石油の値上げが止まらない!』
先日の報道で、1バレル100ドルを突破というニュースが流れていましたが、連日の高値更新になんとか感覚が麻痺しています。
車を日常使う人にとって、ガソリン1リットル150円という価格は深刻な事態ですが、よくよく考えてみると、普段飲んでいるミネラルウォーターが500ミリリットルで同じ位の値段です。それに対し、何万年もかけてやっと作られた有限の石油が、地中深くから採掘されても同程度の値段というのは、実は安いのではないかとさえ思ったりもしています。
しかし、急な価格の高騰はやはり一般消費者には深刻な問題で、そこで今にわかに話題となっているのがエコドライブという言葉です。これは、環境に優しい省エネ運転を心がけ、燃費アップをしましょうという運動です。ふんわりアクセルやアイドリングストップ等、ちょっとした心がけで誰でも実践できることが、エコドライブ10のすすめとして提唱されており、調布市のホームページにも掲載しています。
★新たに『未来へつなぐ調布の環境』という項目を追加
調布市ホームページのトップ画面から環境情報にアクセスできるようになりました。ぜひご覧ください。(環境政策課 小松)



多摩川クリーン作戦
4月13日(日) 8:00~9:00
集合 多摩川市民広場土手(日活芸術学院の南のあたり)
今回は環境市民懇談会として団体登録をしました。春らしく暖かい陽射しの下で一流流しましょう!是非ご参加下さい。

環境市民懇談会準備会
4月15日(火) 18:30~20:30
場所 たづくり301会議室
★環境活動に関わる全ての市民のコミュニケーションの場になれば、と考えています。08年からは新たな活動の広がりを模索していきます。活動に関わっている方はぜひご参加下さい★

環境モニター新年度メンバー募集中!

こぼれ話 toritoritori toritoritori
* 大陸で繁殖し、日本海を渡ってきたツグミは能登半島などの上陸地でカスミ網に捕らえられ、哀れ、焼き鳥に化けたりしました。野鳥の会をはじめ、愛鳥家が世界中でカスミ網の製造販売を中止させました。
* アカハラは中部地方以北のカラマツ林などで繁殖します。高原リゾート地で夜明け前一番にキョロンキョロンツィーとさえずりはじめると野鳥のコーラスの始まりです。

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。
ちょうふ環境市民懇談会
連絡先: 調布市環境政策課 tel 042-481-7086
E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp
調布市ホームページでカラー版がご覧いただけます
→市公式HP→くらし→環境・緑化→ちょうふの自然だより